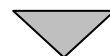


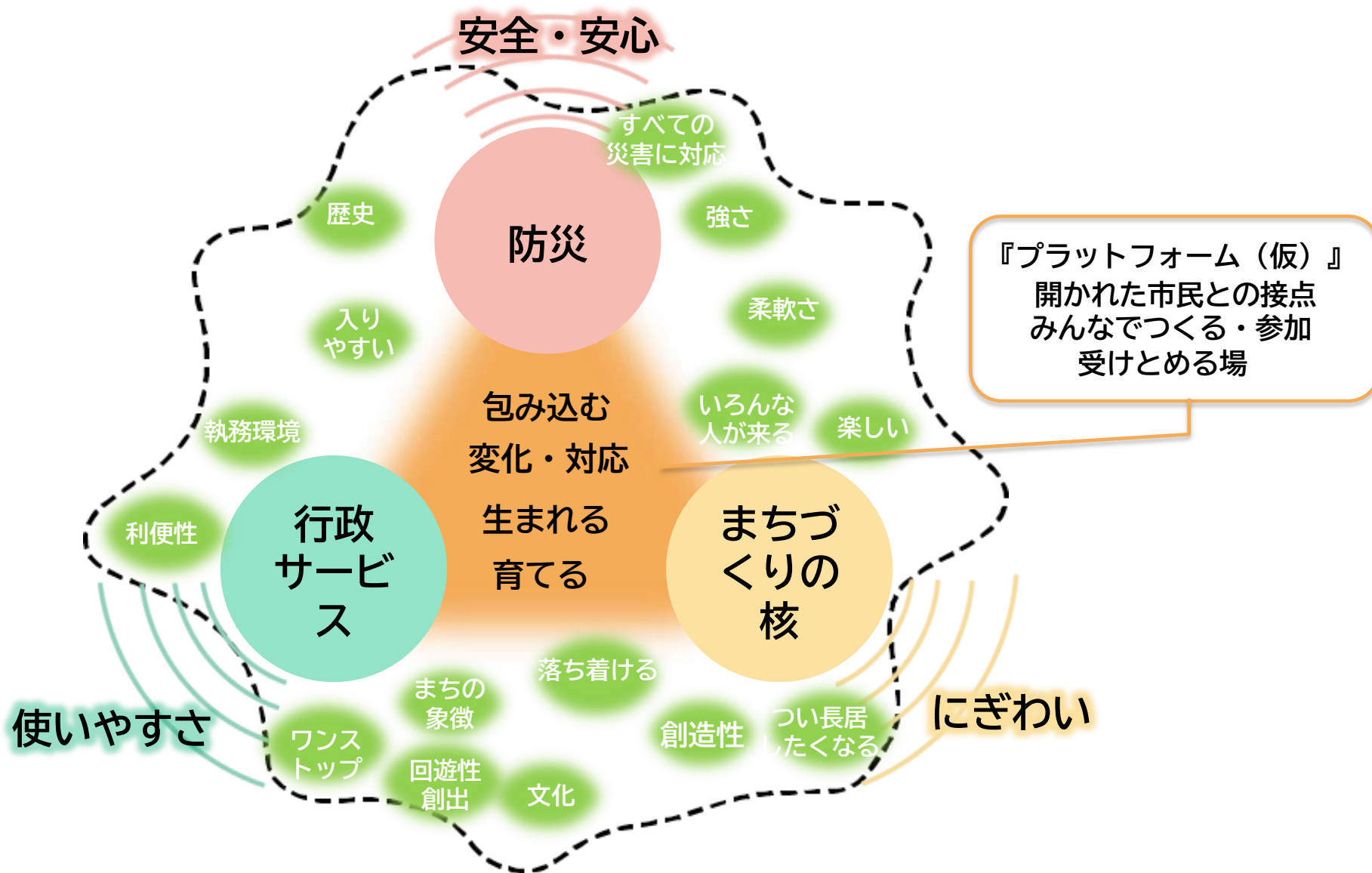
1. 第1回分科会の審議結果を受けた仮コンセプトの設定

審議項目		審議結果
基本計画の骨子		了承
各機能の 検討の方向性	本庁舎・議会棟	- 基本構想で掲げる「まちの賑わいに貢献し、まちづくりの核となる庁舎」がどのようなものかを議論し、そのうえで庁舎像を描いたほうがいい。 - 市民等と新庁舎の関わり方の整理が必要。 - 各論を議論する前に、まずはどのような庁舎とするのか、議論の最中にも立ち戻ることができるコンセプトを定める必要がある。
	中央区役所	
	災害対応	
	市民利用スペース	
	駐車・駐輪	交通政策や社会動向の変化を踏まえた駐車場の台数の検討や、ウォークブル等の観点から近隣駐車場の活用を検討するという方向性について、了承
コンセプト検討の進め方		- コンセプトは機能や要素ごとに定めるようなものではない。 - 検討を始める際に最初の段階で案として定めておくべき。



「まちづくりの核としての新庁舎の役割」を整理した上で、
「市民や来街者等と新庁舎の関わり方」をイメージし、まずは議論の最中にも
立ち戻ることができる**新庁舎のあり方（仮コンセプト）を定める**

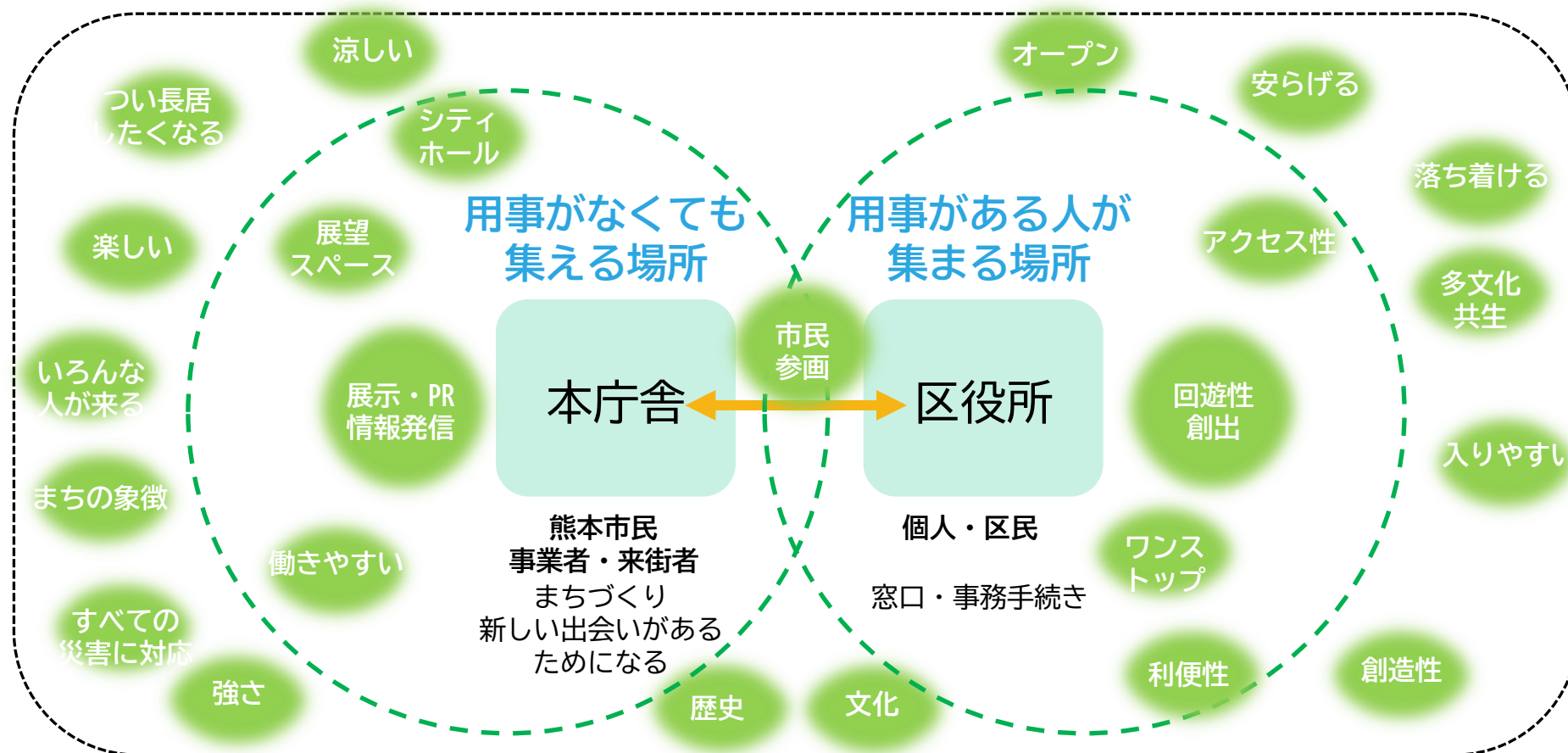
2. 三分科会長のご意見を踏まえた新庁舎の概念図



プラットフォームが中心にありつつ、すべてを包括し、時代に合わせて変化する不定形な概念

3. 各委員からのご意見を踏まえた新庁舎の概念図①

庁舎の概念を本庁舎と区役所の役割に分けて考える



4. 各委員からのご意見を踏まえた新庁舎の概念図②

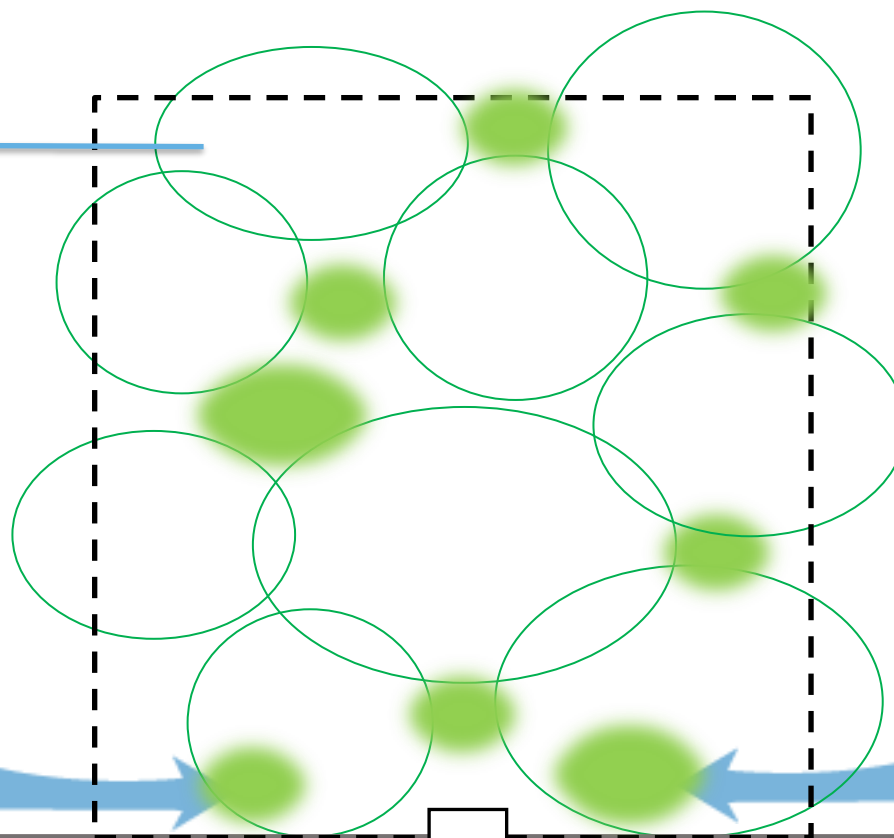
概念を庁舎空間にあてはめてみる



熊本城

民間施設
公共施設
商店街
観光資源

入りやすさ



庁舎とはどんな空間か？

- ・働きやすいワークスペース
- ・誰もが使える会議室
- ・市民協働スペース
- ・セキュリティが確保されている
- ・入りやすい

市民が関わる場所（参画・交流・憩い）

庁舎を構成する空間・スペース

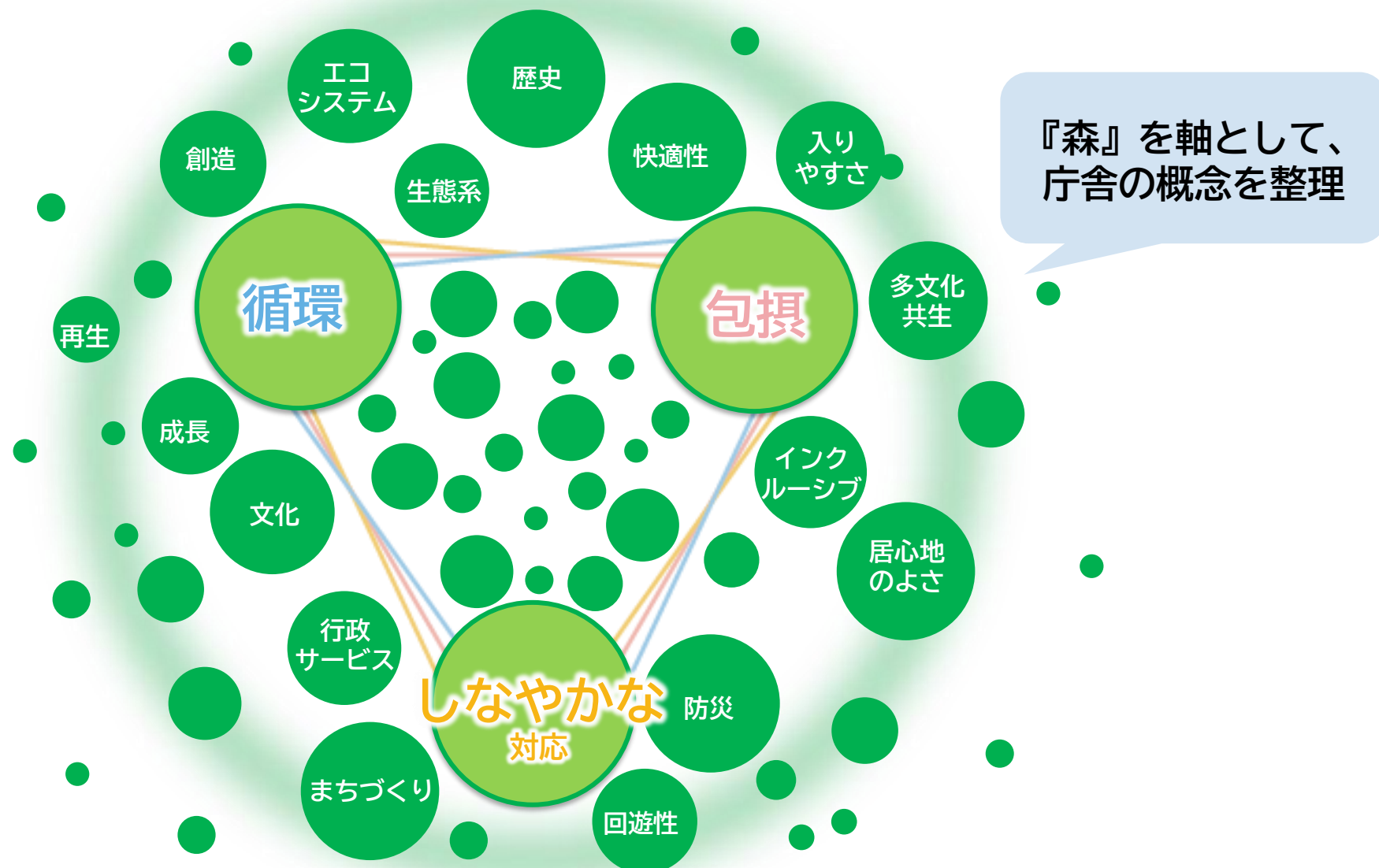
花畑広場
電車通り
バス停
電停
パブリック
スペース

敷居の低さ

あらゆる人にとって入りやすく居心地の良い場所

様々なものが生まれ、あらゆるものを包み込む『森』のような場所

5. 各委員からのご意見を踏まえた新庁舎の概念図③



新庁舎のコンセプトは『森』をキーワードとして
これからの熊本市をイメージさせるものを検討する

6. 新庁舎の仮コンセプト（案）

- 案① 『みらいの森・みんなの広場』
- 案② 『みらいの森 めぐる・つつむ・まもる』
(いきる、いかす)
- 案③ 『みんなで創る みらいの森』
- 案④ 『まちを創る みらいの森』

【コンセプトを整理する上でのポイント】

- ・ **コンセプトの意味**を市民が誤解なく受け止めることができるか
(必要に応じて、**副題など補完する言葉**も併せて整理する)
- ・ 新庁舎の**役割や空間**を想起させることができるか
- ・ 議論の最中に**立ち戻る**ことができるものか
- ・ 桜町・花畑地区のコンセプト “**熊本城と庭つづき『まちの大広間』**” と調和が
取れたコンセプトになっている